

会長あいさつ

会長：加藤 奈智子

今年の夏は酷暑に見舞われ、各地で大変な日々を過ごされたことと思います。会員の皆様お健やかに過ごしのことと拝察いたします。

さて、長崎原爆の日、長崎大学医学部原爆慰霊祭で看護学同窓会として今年から献花をさせていただきました。被爆された多くの先輩諸姉がご参列されている中で僭越でしたが、会長として心を込めて合掌いたしました。

次に今年度の看護学研究奨励賞の応募がありませんでした。大変残念なことです。看護の現状では改革の波をもろにかぶって多忙な時間を過ごしておられる事は理解できますが、看護そして同窓会の『継承そして発展』と会員の熱い思いのこもったこの賞を少しでも役立ててほしいと願っています。

私事ですが、今年の日本看護協会の名誉会員に推挙されました。大変ありがたく光栄なことと感謝しております。その後色々な資料をいただく中に2007年CNR・ICN関係の書籍やDVDが贈られてきました。5月27日から6月3日までの8日間横浜で開催されました。日本が主催国として30年ぶりに開催され世界101ヶ国3900名(日本1900)が参加して盛大に成功裡に行われました。中でも学術集会では多くの研究活動(1010題)が発表され各国の理解を得たとの報告を見ることができ、とても嬉しく思いました。本会でも今一つ努力しなければと強く感じました。また、今年は長崎大学医学部150年記念の年に当たり慶賀の至りです。

では、同窓会当日、元気な皆様とお会いできる事を楽しみにお待ちしております。

同窓会会員数(現在) 平成18年度庶務報告

総数 3,177名
養成所 321名
厚生女学部 155名
看護学校 1,347名
医療短大 1,202名
保健学科 155

1. 平成19年度同窓会入会者 76名(医学部保健学科2回生)
2. 経過報告 1)同窓会総会 H18. 11. 23
2)理事会開催 4回
3)同窓会運営会議とニュースレター作成委員合同会議 H19. 9. 12
4)慶弔・3月 医学部保健学科卒業式 お祝い:生花スタンド
・8月 長崎大学原爆慰霊祭にて看護学同窓会長より献花

・物故者へ弔電

- 5)看護学奨励賞運営
- 6)ニュースレター発行

募金のお願い

前年度の総会にて同窓会の終身会費の値上げを提案しました。今年度の総会で承認されれば、今年度の卒業生から5千円を頂くこととなります。既会員の皆様には募金の形でご協力をいただければ幸いです。

【振込先】郵便局 記号:17680 番号:22216361 加入者名:長崎看護学同窓会

長崎大学医学部保健学科看護学専攻における国際交流

1. 韓国晋州保健大学との学術交流

韓国晋州保健大学と本学の学術交流は1995年から始まり、両大学との間で教育研究協力に関する学術交流協定が結ばれました。これまで3回ずつ双方が訪問し、韓国の医療・看護事情を学び、ホームステイを通して韓国の文化に触れる事ができました。教員の共同研究では、これまで5編の論文が発表されています。今年は8月26日～29日に本学から学生8名、教員2名が訪韓しました。歓迎式では韓国の学生は日本語で、本学の学生はハングルで自己紹介をし、交流ムードは高まり、学長主催の歓迎会で学生は持参した浴衣で踊りを披露しました。実習病院である慶尚大学病院の見学を始め、晋州市内の観光などで3泊4日はあっという間に過ぎました。今回も教員は双方から研究課題を提示し、共同研究の実施にむけて現在検討中です。学生はホストおよびホストファミリーの歓待に感激し、来年の再会を約束し晋州市をあとにしました。

2. ハワイ・カウアイ・コミュニティカレッジとの交流

6月17日～20日にハワイ・カウアイ・コミュニティカレッジの教員3名が本学との学生交流を希望され訪問されました。実習病院・施設の見学や西洋医学発祥の地および被爆県長崎が学生にとって有意義な学習の場であるとして本学との交流を強く望まれて帰国されました。早速平成20年3月に学生を送りたいとの申し入れがあり、受け入れに向けての検討を進めています。(文責 浦田秀子)

長崎看護学研究奨励賞 大募集!!

今年の研究奨励賞がスタートして3年目になります。残念ながら本年度の研究奨励賞への応募はありませんでした。本賞は、同窓会会員の皆様の臨床・教育の場での研究活動を助成することを目的に設立されたものです。会員個人の研究あるいは会員をふくむ組織の研究活動の促進にご活用いただければと願っています。次年度はふるってご応募いただきますようご案内申し上げます。

別紙応募要領をご覧ください、担当者にお気軽にお問い合わせ下さい。

【ご報告】1回目受賞の岡田みずほさん(医短4回生 長崎大学医学部・歯学部附属病院勤務)の研究課題「外来がん化学療法を受ける肺癌患者のアセスメントーPatient Needs Assessment toolを利用してー」が長崎大学医学部の「保健学研究」に研究論文として掲載されることになりました。

担当者:学外理事 勝野久美子

(問い合わせ先:TEL 095-818-5804)

卒業生便り

～桑江千賀子さん(医短15回生)～

看護は自分自身の成長過程:当院に勤務して2年になりますが、臨床で働いていく上では、大変な事も辛い事も沢山あります。しかし、患者様と関わりを持つ中で「嬉しい」と思うことが必ずあります。患者様から感謝のお言葉いただくと、自分へのエネルギーへと変わり、より良い看護を提供したいという気持ちが起こり次へのステップへと繋がります。

当院では、医師、看護師、栄養士、薬剤師、臨床検査技師で活動するチーム医療が充実しています。NST(栄養サポートチーム)、褥創、摂食・嚥下リハビリテーション、緩和ケア、糖尿病サポートの5つのチームがあります。私は現在、NSTの一員として病棟の患者様の紹介やチームと病棟との橋渡し役として頑張っています。また、認定看護師も増え、11の専門コースを担当し、年間を通して研修が行われています。これからも、目標を持って、新しい事へチャレンジし、自分自身を成長させていきたいと思っています。

平成17年入職 9階病棟勤務

～木津舞子さん(保健学科2回生)～

私が看護師として働き始めて半年が過ぎようとしています。最初は、学生の時とは異なることが多く、リアリティショックを感じました。たくさん失敗をして落ち込むこともありましたが、半年経って、できることも少しずつ増えてきました。患者様のことを見目も最初とは少し変わってきました。看護師は責任のある仕事だということをひしひしと感じています。毎日、先輩方から学ぶことが多くあります。患者様から学ぶことも多くあります。これから日々考えることを忘れず、自分の看護観を育て、患者様に必要な看護を提供できるように努力していきたいと思っています。

平成19年入職 12階病棟勤務



長崎大学医学部・歯学部附属病院紹介

★新病棟は今年度11月竣工に向け、白亜の館のほぼ全容が整い、内装工事も着々と進んでいます。ヘルメットをかぶり、館内の見学をさせて頂きましたが、猛暑と埃の中を建設現場の方が汗だくで作業をしてくださっていました。多くの方の力をお借りしながら、新病棟での新しい歴史がもうすぐはじまります。先輩諸姉から引き継がれた長崎大学病院の看護の力を、生まれ変わった館に負けないよう熟成させていきたいものです。今後も皆様のご支援と忌憚ないご意見を宜しく願います。

★平成17年度診療報酬改定で新設された「入院基本料7:1看護配置」を平成19年5月より取得しました。103名の新採用看護師を迎え、集合教育や現場での新人教育は最大の課題であり、4名の教育担当者を専任で配置しています。新人さんには若葉マークと「フレッシュナース」の文字が踊るかわいらしいバッジを付けてもらったり、「WAKABA ROOM」(看護学生、新人さん等のためのサロン)を開設し、先輩ナース皆でフォローする体制作りに努めています。7:1看護配置を看護の追い風と受け止め、患者さまにとっての7:1の成果を出していけるよう頑張っていきたいと思っています。(看護部長 下田澄江)



編集後記:

ニュースレターの発行も今回で3回目となりました。彩りを添えるため、虞美人草(ポピー、けしの花)を基調にロゴマークを募集しております。これをという方は事務局までお寄せ下さい。お待ちしております。

編集担当:田島純子(医3)・張川恭子(医10)

